

# 津波から身を守るうつ

お問合せ 総務課 ☎21・3648

市では津波避難計画を策定し、3月末に津波ハザードマップと防災ハンドブックを配布しました。

マップやハンドブックを参考に、災害の発生から準備しましょう。



## 津波避難計画とは

北海道から示された津波浸水予測を基に、避難対象地域・避難場所・市民が行う避難対策などを定めた計画です。



## 津波ハザードマップ

津波浸水予測や避難計画を基に、浸水が予測される範囲やその深さ、津波警報・大津波警報発表時の避難対象地域や避難場所など、市民が避難するために必要な情報を地図にしたものです。

## 防災ハンドブック

地震・津波・風水害・土砂災害・火山災害の備えと避難所の位置についてまとめた冊子です。

## 津波の発生に備えるには

- ・避難対象地域、避難場所、避難経路を把握しておく。
- ・家族が離ればなれになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- ・非常持出品を準備しておく。(非常食・水・ミルク・おむつ・常備薬・毛布・眼鏡など)



## 津波の情報を収集するには

- ・次の手段で津波警報や避難勧告などの情報を収集しましょう。
- ・テレビ・ラジオ
- ・函館市ANSINメールやドコモ・au・ソフトバンクの携帯電話に配信される緊急速報メール
- ・防災行政無線
- ・市のHP など



## 避難するときは

- ・海岸や川沿いから離れながら、避難対象地域外や避難場所へ避難する。
- ・原則として車での避難はしない。
- ・自ら率先して避難する。
- ・警報が解除されるまで避難対象地域へ戻らない。

# 災害時多目的船について

お問合せ 計画調整課 ☎21・3695

## 災害時多目的船とは

災害時多目的船とは、大規模広域災害により交通網が寸断された場合などに海上からの医療支援等を行うヘリポートや医療機能を備えた大型船舶です。病院船とも言われており、アメリカや中国、ロシアなどは既に保有しています。

## 我が国における検討経過

東日本大震災を踏まえた防災対策の見直しのなかで、今後予想される首都直下・南海トラフ地震などの大規模広域災害に万全を期すため、国では、医療機能を中心とした災害時多目的船のあり方に係る調査・検討を行っています。

## 函館市の取り組み

函館市は、首都圏等と同時に被災するリスクが低く、また、函館港からは太平洋と日本海いずれにも迅速な救援活動が可能です。

このような地理的優位性を踏まえ、北海道との連携、市議会や経済界の協力のもと、国や病院船建造推進超党派議員連盟等に対し、災害時多目的船の早期整備とその母港としての函館港の活用に係る要望活動を行ってきました。

災害時多目的船は、国内はもとより、海外での災害支援・医療活動支援といった観点からも大変有用です。

函館港が母港となることにより、その活動支援を通じて国内・国際社会へ貢献できること、また、地域医療の高度化や地域経済の振興の面でも様々な効果が期待されることから、実現に向けて、今後必要活動を行っていきます。

